

ひとよし市議会だより

2014 第82号 平成26年11月15日

発行：熊本県人吉市議会／編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoiyoshi.lg.jp>



多喜田友香選手



大瀬修平選手



アベック入賞おめでとう！
人吉市の大瀬修平選手と
多喜田友香選手

《主な内容》

- P2～4 … 各委員会報告
- P5～7 … 一般質問、議案等の議決結果
- P7 …… 地方財政の充実・強化を求める意見書
- P8 …… 議会の新たな取り組み

平成26年9月定例会を9月2日から24日までの 23日間の日程で開催しました

一般会計補正予算3億7,674万1千円増額を承認 (補正後の総額は157億1,007万3千円)

《主なもの》

- 特定地域再生事業「人吉ハラル促進区実現のための“おもてなし”構築事業」……………824万7千円
- G空間技術を活用した地域連携型防災まちづくり実証事業……………429万3千円
- 社会保障・税番号制度システム整備経費……………3,471万3千円

国民健康保険事業特別会計……………	2億6,335万4千円増額し	総額48億2,927万円
後期高齢者医療特別会計……………	1,047万7千円増額し	総額5億224万3千円
介護保険特別会計……………	1億422万5千円増額し	総額44億3,197万円
介護サービス事業特別会計……………	182万6千円増額し	総額3,108万円
水道事業特別会計 収益的支出……………	496万8千円増額し	総額5億2,108万4千円
資本的支出……………	55万1千円増額し	総額2億6,060万7千円
公共下水道事業特別会計……………	1億1,122万6千円増額し	総額11億8,362万5千円
工業用地造成事業特別会計……………	2億3,183万7千円増額し	総額2億3,472万3千円

決算特別委員会を設置しました

9月定例会最終日に、平成25年度の決算を審査する決算特別委員会を設置しました。

委員会は閉会中に審査を行い、12月定例会で結果を報告します。

委員長 西 信八郎 副委員長 犬童 利夫

委員 宮崎 保、村口 隆、大塚 則男、平田 清吉、川野 精一

総務文教委員会報告

●委員長 豊永 貞夫 ●副委員長 村上 恵一
●委員 犬童 利夫・田中 哲・仲村 勝治・永山 芳宏

いじめ問題へ万全な体制を構築

いじめにより重大事態が発生し、教育委員会からの調査報告に対し、必要に応じ再調査を行うための「人吉市いじめ調査委員会」が市長の附属機関として設置されます。また、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処に関係する機関及び団体との連携を図るための「人吉市いじめ問題対策連絡協議会」が設置されます。

社会保障・税番号(マイナンバー)制度導入に向けて

マイナンバー制度とは、住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理するもので、一番のメリットは役所などに申請する際の添付書類が不要になるなど、手続きが簡素化されることです。平成28年1月から各分野で順次利用が開始されることから、住民基本台帳や地方税関連電算システムの改修委託料などの予算を認めました。

屋内運動場非構造部材耐震点検を実施

市内全小中学校の屋内運動場の非構造部材耐震点検が実施されます。これは、体育館の吊り天井、照明器具、

バスケットボールのゴールなど、避難施設として使用される施設に関しての点検を行うものです。

中原コミセン改修工事へ

中原コミュニティセンターの改修工事設計委託料が計上されました。これは、利用者の高齢化に伴い、2階にある調理室への搬入・搬出作業が急な階段利用で危険なため、以前から危険防止対策が求められていました。計画では、2階調理室を隣の畜産会事務所へ移設し、畜産会事務所は敷地内の一角へ移転する計画となっております。



改修工事が予定されている中原コミュニティセンター

厚生委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 高瀬 堅一
●委員 松岡 隼人・川野 精一・三倉 美千子・森口 勝之

小型特殊自動車の税額引き上げ

小型特殊自動車に係る軽自動車税のうち、農耕作業用のものを800円増額の2,400円に、その他のものを1,200円増額の5,900円に引き上げられます。農耕作業用のものは、購入時に自主申告してもらうもので、乗用設備があれば、公道を走らなくても課税の対象となります。田植機はナンバープレートをつけるところがないのが問題となっています。

子ども・子育て支援新制度に伴う条例を認める

子ども・子育て支援新制度が平成27年4月に本格スタートすることから、省令に基づき、自治体で条例を制定することとなったため、関連する3本の条例が提案されました。

岳寿館広場改修測量設計委託料認める

矢岳町岳寿館の広場は、排水が悪く、グラウンドゴルフもできない状況にあり、矢岳小学校の廃校により、町内のレクリエーション等に利用できるよう要望があり改修するもので、178万2千円の委託料を認めました。

定期予防接種対象疾患が追加される

予防接種法の改正に伴い、水痘ワクチン及び高齢者等の肺炎球菌ワクチンの個別予防接種が本年10月から定期予防接種化されます。対象者は、水痘ワクチンが1～3

歳未満の幼児(これまでに水痘にかかった幼児を除く)、高齢者等肺炎球菌ワクチンは、平成26年度中(平成26年4月1日～平成27年3月31日)に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上になる方、または60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障害がある方やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方(身体障害者手帳1級をお持ちの方)になります。

県下14市で一番高い下水道料の引き下げを求める陳情は不採択

平成26年9月5日に、本年4月から下水道料が10.85%値上げされ、県下で一番高い下水道料となったが、納得できない。消費税も上がり市民の生活は大変な状況になっている。自治体の役割は市民生活を守ることなので、県下で一番高い下水道料を引き下げようこの陳情を採択してほしいと、1,087名の署名を添えて提出されました。

審査の過程で、下水道事業運営審議会の答申を受け、昨年も相当議論し苦渋の決断を下した案件であること。他市も平成27年4月に料金改定を予定されているところもあり、今後当市よりも高い改定になると思われること。また、来年度から会計制度が企業会計へ移行するため、従来のように一般会計からの繰り入れによる不足分の補てんもできなくなるといった様々な意見があり、採決の結果、不採択としました。

経済建設委員会報告

●委員長 井上 光浩 ●副委員長 大塚 則男
●委員 宮崎 保・村口 隆・平田 清吉・西 信八郎

人吉市風致地区内における建築等の規制に関する条例案を承認

風致地区とは、都市内外の自然美を維持保存するために創設された制度で、建築物の建築や樹木の伐採などに一定の制限が加えられます。本市では、村山風致地区、城山風致地区、蓬莱山風致地区の3地区が指定されています。県からの権限移譲により来年度から施行されます。

水ノ手橋補修工事請負契約締結を承認

水ノ手橋の損傷・劣化に対する補修工事の工事請負契約について、指名競争入札により契約金額を2億4,516万円、契約の相手方を、IHIインフラ建設・双栄建設建設工事共同企業体とするものです。工期は平成28年3月までの予定です。市民への周知をしっかりと行うよう要望しました。

スマートIC整備に伴う条例案承認

スマートインターチェンジ整備事業に伴い、必要な項目を追加する道路構造の技術的基準を定める条例の一部改正案、道路標識の寸法を定める条例の一部改正案を承認しました。

損害の賠償を承認

本件は、前田団地内の集水桝に女子児童が落下した事故に対し、損害賠償額を決定し和解するものです。賠償

の相手方に対し、感謝料が請求できる権利を伝えられていなかったため、請求の意思確認が取れたあと賠償額を承認しました。今後は法律上の権利を市民にきちんと伝えるよう要望しました。

中核工業用地調整池工事に2億3千万円

上漆田町の中核工業用地について、都市計画法に基づく開発行為を行うにあたり、現在の調整池では容量が不足するため拡張改築工事が行われます。



調整池が拡張される中核工業用地

補正を承認した主な事業予算

- ひとよし産業祭実行委員会補助金…………… 237万5千円
- 森林組合合併施設整備事業補助金…………… 192万5千円
- 市有林新植委託料…………… 3,214万8千円
- シカの防護柵設置委託料…………… 1,371万円
- 市営団地給排水・電気設備修繕料…………… 1,000万円

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 高瀬 堅一・井上 光浩・笹山 欣悟・西 信八郎
仲村 勝治・三倉 美千子・永山 芳宏

基本構想策定が始まる

13回目の特別委員会を去る9月3日に開催し、以下2項目について審査を行いました。

○今後のスケジュール

4月のアンケートを基に8月まで3回の庁舎等移転建設審議会で、基本理念と基本方針、求める機能について審議をしてきており、市庁舎建設に関する特別委員会と報告・修正のやり取りをしながら、今後は庁舎規模及び機能を検討し、その後の答申案をもとにパブリックコメント（意見公募）を行い、集約したものを3月議会で本特別委員会に諮り、その結果を踏まえて当審議会で答申を行うという流れになります。

○庁舎等移転建設審議会が行った基本理念、基本方針、求める機能の検討について

基本構想策定に向けての手順については以下5つの項目になります。

1. 市庁舎の現状と課題の確認、新市庁舎建設の必要性の確認
2. 市民アンケートを踏まえた新市庁舎の目指す、「基本理念」と「基本方針」の検討

3. 市民アンケートを踏まえた新市庁舎に「導入する機能」の検討

4. 新市庁舎の規模の検討

5. 移転建設計画の検討

今回は、3番目までの市民アンケートを踏まえた新市庁舎に「導入する機能」の検討について説明を受けましたが、今回の重要課題とも言える「新市庁舎に求められる機能」の中の行政機能については、「窓口・待合・相談スペース・市民活動支援等の市民サービス機能」、「災害対策本部としての防災・災害対策拠点機能」、「環境共生・省エネルギー機能」、「執務環境・会議室等の執務機能」、「情報管理機能」、「駐車場・駐輪場・便利施設等の付帯設備機能」の6つの視点から細かく方針を挙げられています。

説明を受けた中で委員からは、今回の求められる機能を全て実現したら事業費がかさむことになると思うが、どのように考えているのか。また、基本理念と基本方針の中にある、「職員の資質の向上」という項目はあえて入れる必要はないのではないか、など多くの質問や意見がありました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 犬童 利夫
●委員 宮崎 保・村口 隆・大塚 則男・平田 清吉
豊永 貞夫・川野 精一・森口 勝之

日頃からの災害に対する備えの重要性を痛感する

平成24年7月に発生しました「九州北部豪雨災害の被害状況と対策について」ということで、8月27日に阿蘇市で視察研修を行いました。概要説明では、阿蘇市は地形的に他の地域より梅雨期降水量が多いこと。当時の降水状況は、1時間降水量が108.0mm、3時間最大降水量が288.5mm、24時間最大降水量が507.5mmでいずれも観測史上最大であったこと。特に深夜の1時から朝の7時までの6時間に459.5mmの「これまで経験したことのないような大雨」で、発達した雨雲が次々と流れ込み、積乱雲が繰り返し発生する「バックビルディング現象」が発生し大雨をもたらしたとの説明でした。土砂災害の発生要因としては、相当量の雨量と火山灰土という阿蘇特有の地質、特殊な地形が大規模な土砂災害につながった。被害状況としては、死者21名、行方不明者1名。住家被害が全壊60棟、半壊1,121棟、床上浸水38棟、罹災世帯数1,219世帯3,160人。土木関係約60億円、農政関係約245億円、観光関係約51億円ということでした。

豪雨災害を振り返って、広域的な同時多発災害、夜間対応の難しさから、日頃の災害に対する備えの重要性、最悪の事態を想定した判断・行動が必要である。また、

災害の防災・減災対策として避難勧告・指示等の見直しや避難場所等の見直しの必要性。職員の待機態勢の見直しや予防的避難(早めの避難)の取り組みが必要であるとのことでした。

次に、9月4日に開催した第12回本特別委員会では、阿蘇市での研修を受けまして、今後の人吉市の防災・減災への提言をまとめました。また、執行部から「ダムによらない治水対策案の住民説明会」についての報告があり、国土交通省より河川整備計画策定前であっても、「追加して実施する対策」に取り組み、来年度人吉市の対策に取り組めるよう準備を進めているとの報告を受けております。



九州北部豪雨で被災した阿蘇市坂梨地区に建設された砂防ダム

一般質問

9月定例会では、8人の議員が登壇し、市長の施政方針、スポーツ関連、教育環境、防災対策、健康福祉対策、農畜産業関連など、幅広く活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。



鉄道ミュージアムについて



村口 隆

問 入場料は無料ということだが収入はどうなっているのか。

答 ミニトレインやレールバイクなどの遊具等の利用料、喫茶軽食部分や占用使用時の使用料など。

問 開館後のランニングコスト(保守・管理費用)はどれくらいなのか。また、その財源についてはどうなっているのか。

答 水道光熱費などの需用費、通信運搬などの役務費、清掃・警備・各種点検業務に係る委託料などを想定して、およそ600万円。人件費については、委託等の形態がまだ決定していないので、計上していない。指定管理についても、市の直営による部分委託のいずれにしても、財源となるのは一般財源である。

防災、減災ソフト対策の充実を図る



松岡 隼人

問 7月に市内全域を対象に避難勧告が発令された。それによって浮かび上がった課題が3点ある。①正しい情報の伝達について。②避難しなかったができなかった方の移動手段について。③避難所での正しい情報の取得について。これらは早急に解決すべきだと考えるがいかがか。

答 ①避難に関する情報が分かりやすく正確に伝達できるように改善する。②地域における支え合いが災害時に有効に機能し、いざという時に安心して避難ができるようサポートする。③避難所におけるテレビ等の情報収集機器については、指定避難所から整備を検討する。

※その他、球磨川流域の治水対策について市長に考えを質しました。

工業用地造成と防災対策



田中 哲

問 工業用地としての要件を満たし安定しているのか。起債の償還方法や全体工事金額、償還金への充当財源、将来の一般会計からの繰り出しはないのか。ハラル関連企業誘致の現状は。

答 大規模な盛土造成となることから土質、沈下量に留意し工事を進め、進出した企業に情報提供し説明していく。起債の償還方法は2年間の据え置き後、10年償還かそれに近い方法。全体工事金額は4億5千万円から5億円。償還金の充当財源は用地売却金を充てるが、償還が始まるまで売却できない場合、一般会計から繰り入れをお願いする。現在では名乗りを上げている企業は残念ながらまだない。

※災害種別による対応を要請した。

地域包括ケアシステム
構築について



豊永 貞夫

問 人吉市の介護保険料基準額は熊本県では一番高い額になっているが、その要因の分析は。

答 介護サービスの量が多ければ高くなり、逆に量が少なければ保険料は低くなるしくみ。本市の場合、施設サービスの費用額が高く、特に介護療養型医療施設の第1号被保険者1人あたりの病床数は県内でも1番多く、サービス費用額は全国平均の5倍、県平均の2倍となっていることが大きな要因。

問 ますます地域包括ケアシステムの構築が重要になってくるが、今後の方針は。

答 システムの実現に向け、元気な高齢者の活躍が重要。医療との連携を強化し、2025年を見据えて取り組んでいく。

ふるさと納税・
市役所喫煙室の移動



三倉美千子

問 納税できる対象者は。

答 市民・団体及び人吉市出身者等、本市のまちづくりに賛同される方を対象に、市内外から広く寄附金を募っている。

問 現在、納税の状況は。

答 平成26年8月31日まで延べ156件、1,284万5,677円。県外818万9千円、市外46万5千円、市内29件、206万1,677円、法人213万円となっている。

問 市庁舎守衛室横の喫煙所の移動はできないか。

答 文化庁指定の史跡の中にあり増改築・耐震度基準を満たしておらず、庁舎内の増改築もできないので喫煙所移動は厳しい。

※新庁舎建設ではきちんとした分煙対策を行うよう要望しました。

畜産振興について



大塚 則男

問 高齢化などによる廃業が起きている中で、畜産経営継続に向けた支援策の現状はどうなっているのか。

答 平成24年8月に人吉畜産会が会員を対象にアンケートを実施され、その後、人吉畜産会と市で協議し、平成25年度より畜産経営支援事業として高齢者の畜産農家がせり市、品評会にて他の畜産農家に牛の積み下ろしを依頼した場合、経費の一部補助を行っている。また、地区子牛品評会では、一頭につき千円、成牛・子牛のせり市、球磨郡市連合子牛品評会等においては一頭につき1,500円の補助をしている。25年度の実績として延べ頭数80頭で、10万8,500円の一部補助を行った。

消防団員の
退職金額に差を



仲村 勝治

問 消防団員の退職報償金制度は、部長、副部長、班長が同じ退職金額である。部長は会議も多く、調整連絡など団員をまとめる重要な役職であり、役職に差を設ける考えはないか。

答 国から示された基準により退職金額を算定している。いろいろな意見もあるので、消防団理事会等で意向を確認したい。

問 自主防災組織は、人口減少のため、町内会単位では、役員の高齢化等で活動が困難になっている。自主防災組織の枠組みを消防団の区域と同じにする考えはないか。

答 自主防災組織は、複数の町内で一つの組織として活動できる。防災組織の枠組みを拡大することを検討したい。

フッ化物洗口の
取り組みについて



笹山 欣悟

問 フッ化物洗口実施に伴う教職員への負担軽減についてはどう考えるか。

答 一定の負担をかけることになると思うが、教職員への負担をできうる限り少なくするために綿密な準備を進めてきた。各学校からの意見を聞かせていただき少しでも負担感の軽減につながるよう対応したい。

問 保育園におけるフッ化物洗口において、事故等があった時の責任の所在はどうなるか。

答 保育園の場合は、私立となり、実施主体は各保育所になる。市が、健康増進計画に基づき事業を推進するので、保育所に任せることなく、市が連携し、率先して対応し、不安や心配につながらないように対応したい。

9月定例会で意見書を可決し、国等の関係機関へ送付しました
地方財政の充実・強化を求める意見書（要旨抜粋）

1. 地方財政計画、地方税のあり方、地方交付税総額の決定に当たっては、国の政策方針に基づき一方的に決めるのではなく、国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定すること。
2. 社会保障分野の人材確保と処遇改善、農林水産業の再興、環境対策などの財政需要を的確に把握し、増大する地域の財政需要に見合う地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大を図ること。
3. 復興交付金については、国の関与の縮小を図り、採択要件を緩和し、被災自治体により復興事業により柔軟に活用できるよう早急に改善すること。また、被災地の復興状況を踏まえ、集中復興期間が終了する2016年度以降においても、復興交付金、震災復興特別交付税を継続して確保すること。
4. 法人実効税率の見直しについては、課税ベースの拡大などを通じ、地方税財源の確保を図った上で、地方財政に影響を与えることのないようにすること。また、法人事業税については、安定的な税収確保や地域偏在性の縮小をめざす観点から、現行の外形標準課税の充実を図ること。
5. 償却資産にかかる固定資産税やゴルフ場利用税については、市町村の財政運営に不可欠な税であるため、現行制度を堅持すること。
6. 地方交付税の別枠加算・歳出特別枠については、地方自治体の重要な財源となっていることから現行水準を確保すること。また、増大する地方自治体の財政需要に対応し、臨時的な財源から、社会保障や環境対策などの経常的な経費に対応する財源へと位置付けを改めること。
7. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、小規模自治体に配慮した段階補正の強化、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握について、引き続き対策を講じること。
8. 人件費削減など行革指標に基づく地方交付税の算定は、交付税算定を通じた国の政策誘導であり、地方自治、地方分権の理念に反するものであることから、このような算定を改めること。

平成26年9月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議第68号	平成26年度 人吉市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議第69号	平成26年度 人吉市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第70号	平成26年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第71号	平成26年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第72号	平成26年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第73号	平成26年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第74号	平成26年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第75号	平成26年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第76号	平成26年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第77号	平成25年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査
議第78号	人吉市いじめ調査委員会設置条例の制定について	原案可決
議第79号	人吉市いじめ問題対策連絡協議会設置条例の制定について	原案可決
議第80号	人吉市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第81号	人吉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議第82号	人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議第83号	人吉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議第84号	人吉市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について	原案可決
議第85号	人吉市道路構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第86号	人吉市道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第87号	工事請負契約の締結について	原案可決
議第88号	損害の賠償について	原案可決
議第89号	損害の賠償について	原案可決
議第90号	市道路線の廃止について	原案可決
議第91号	市道路線の認定について	原案可決
議第92号	平成25年度 人吉市歳入歳出決算認定について	継続審査

請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
厚生	県下14市で一番高い下水道料の引き下げを求める陳情	不採択

議会の

新たな取り組み

執行部に反問権を付与

市長等執行機関(職員を含む)が議員に対し、本会議における質問、質疑の趣旨、内容の確認及び論点を明確にするための反問権を付与することとしました。

委員会でのパソコン使用が可能に

議会の電子化を調査研究するため、議会制度研究会の専門部会として、今年6月に「IT化検討委員会」を設置しました。同委員会の調査結果を踏まえ、効率的な質疑に役立てるため本会議を除く各種委員会の会議において、パソコン、タブレット端末の持ち込みを認めることとしました。

今後は資料の電子化について調査研究を進めていく予定です。

※いずれも9月定例会から実施しました。

議会報告会・意見交換会のお知らせ

日時：平成27年1月30日(金) 午後7時

場所：西瀬コミュニティセンター

中原コミュニティセンター

※2会場での同時開催となります。

どなたでもお気軽にお越しください。



編集後記

第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体2014」のカヌー競技が平成26年9月11日から14日の間、球磨川で行われ、議員も全員、開始式に出席いたしました。北海道から沖縄県まで41都道府県83人の選手の参加でした。球磨川での競技で、私たち市民も楽しませていただきました。

平成11年には、第54回国民体育大会「くまもと未来国体」が開催され、夏季大会では「カヌー競技」、10月には、国体炬火リレー出発式。秋季大会では「バレーボール競技」が行われ、人吉スポーツパレスで行われた人吉市スポーツパレスでの観戦なされた紀宮清子内親王殿下(当時)を今でもはつきりと覚えております。大きな催しほど主催者の方々は大変だと思いますが、市民には永く記憶に残り、心を豊かにしてくれるものです。今後、人吉市でもこのような大会の開催に期待します。

(文責：三倉美千子)

【議会編集委員会】
委員長／永山芳宏
副委員長／森口勝之
委員／村口 隆
委員／松岡隼人
委員／田中 哲

平田清吉
村上恵一
三倉美千子

次の定例会は12月予定です